

平成 21 年 4 月 8 日

各 位

東京都港区南青山五丁目 4 番 35 号
 株式会社リンク・セオリー・ホールディングス
 代表取締役社長 佐々木 力
 (コード番号: 3373 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役グループ CFO 大西 秀直
 TEL 03-3407-7502(代表)

平成21年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 28 日に公表した平成 21 年 8 月期通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 8 月期通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）連結業績予想の修正

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	48,646	851	△2,032	△4,200	△26,428.39
今回発表予想(B)	47,475	△16	△2,860	△4,859	△30,573.98
増減額(B-A)	△1,171	△867	△828	△659	—
増減率	△2.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期(平成20年8 月期)実績	59,887	2,056	396	△197	△1,262.40

【連結業績予想修正の理由】

連結売上高の約半分を占める米国事業において、当第 2 四半期連結会計期間以降景況感が更に悪化しており、その結果として、卸売取引先に対する出荷タイミングが遅れることにより一部売上が次年度以降にずれ込むことに加えて、一部受注のキャンセルも発生することが予想されます。そのため、平成21年1月28日付「営業外損失・特別損失の発生並びに平成21年8月期業績予想(連結及び個別)の修正に関するお知らせ」において発表した通期連結業績予想数値を、売上高で1,171百万円、営業損益で867百万円、経常損益で828百万円、当期純損益で659百万円下回る見込みです。

なお、今回の業績予想においては、通期の米国・欧州子会社向けの円建て貸付金に係る為替評価損益が確定する平成21年6月末の為替レートは、第 2 四半期連結会計期間末の実績値である 1 ドル91.01円、1 ユーロ127.93円変わらないものと想定しておりますので、下半期における為替評価損益の発生は見込んでおりません(参考1)。但し、下半期の為替評価損益は米欧子会社の決算期末である平成21年6月末の円ドル・円ユーロ為替レートにより変動いたしますのでご留意下さい。当該為替評価損益による営業外損益の変動要因に加えて、今後業績予想の修正の必要が生じた場合は、適時かつ適切に開示いたします。

2. 個別業績予想について

平成 21 年 8 月期通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）個別業績予想につきましては、平成 21 年 1 月 28 日に公表した業績予想数値の修正はいたしません。

（参考 1）米国・欧州子会社向け円建て貸付金に係る為替評価損益の前提について

（単位：百万円）

	米国子会社向け		欧州子会社向け		為替評価損益合計（損失の場合：△） （注）
	円ドル為替レート （1 ドル換算）	為替評価損益	円ユーロ為替レート （1 ユーロ換算）	為替評価損益	
前期 （平成 20 年 8 月期）	106.42 円	△1,699	168.04 円	136	△1,563
当第 2 四半期連結 累計期間実績	91.01 円	△1,787	127.93 円	△1,004	△2,791
下半期予想の前提	91.01 円	—	127.93 円	—	—
通期予想 （平成 21 年 8 月期）	—	△1,787	—	△1,004	△2,791

（注）連結財務諸表上の為替評価損益には、これ以外に仕入決済等に係る為替評価損益を含みます。

（なお、上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。）

以 上